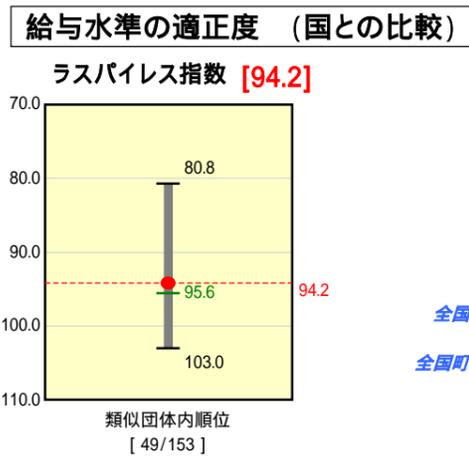
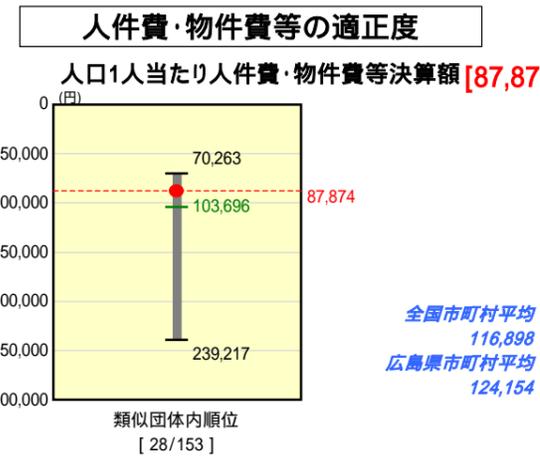
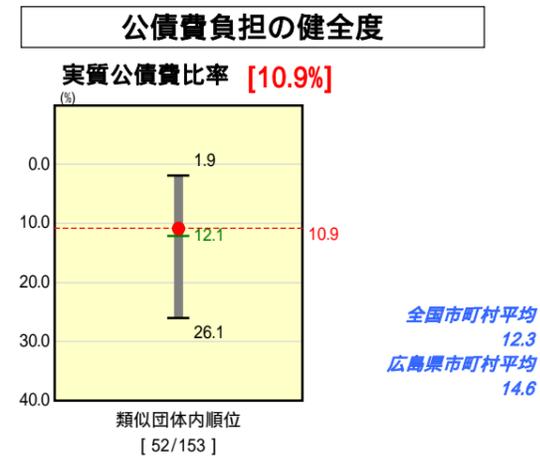
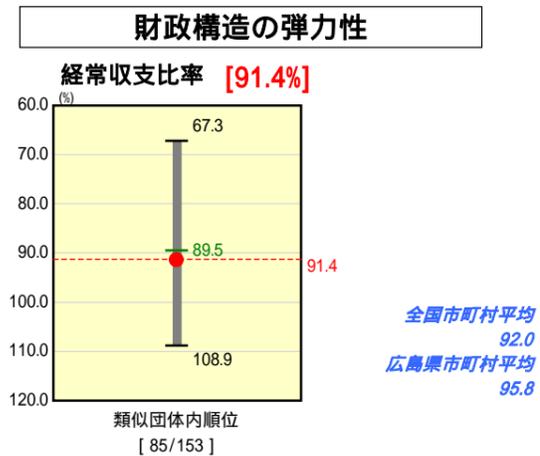
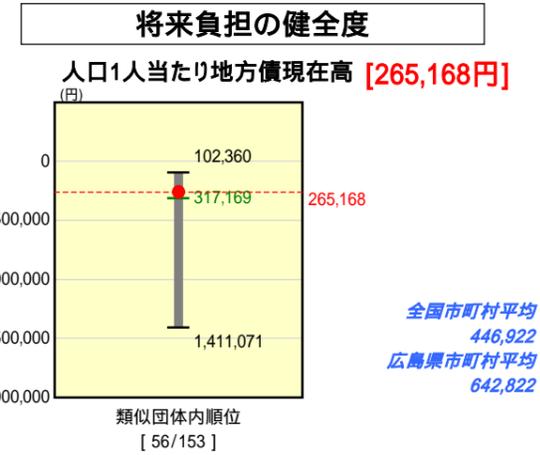
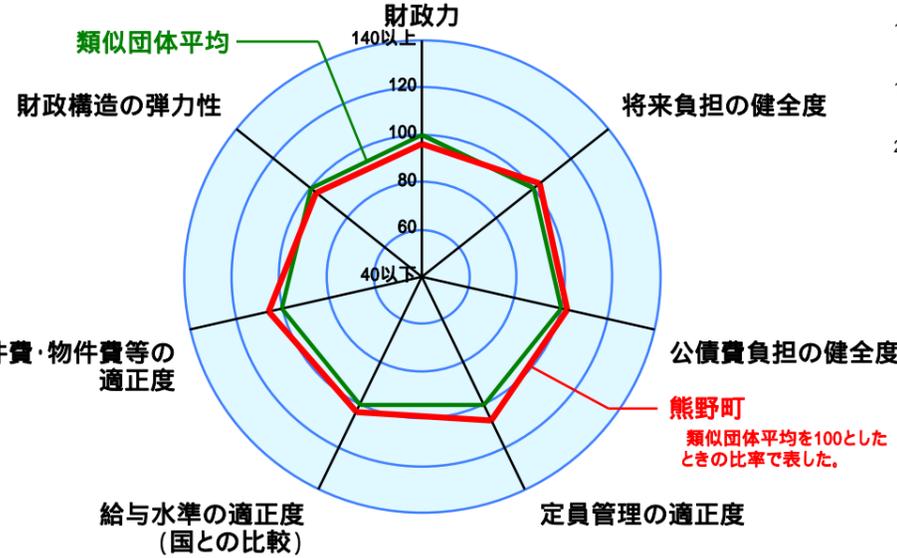
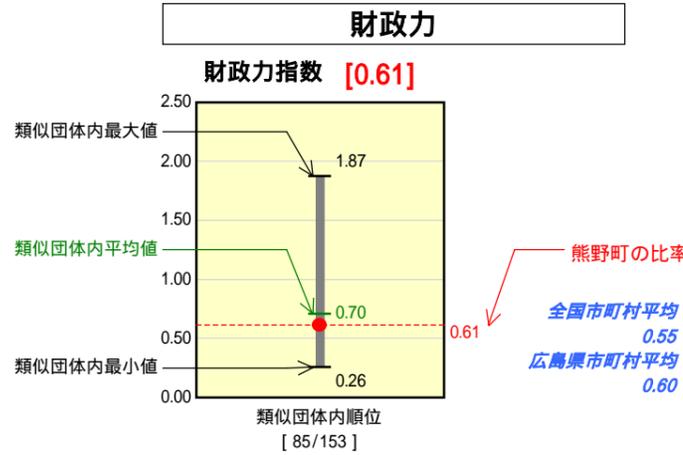


市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

広島県 熊野町

人口	25,756	人(H20.3.31現在)
面積	33.62	km ²
歳入総額	6,634,991	千円
歳出総額	6,363,925	千円
実質収支	266,382	千円



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。
 平成20年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体で実質公債費比率を算定していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。
 ラスパイレス指数及び人口1,000人当たり職員数については、平成19年地方公務員給与実態調査に基づくものである。なお、平成19年度中に市町村合併を行った団体については、当該項目に係るデータのグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。

分析欄

【財政力指数】(前年度比 0.020ポイント増 平成18年度0.590)
 平成19年度は、昨年度に引き続き伸びを見せており、0.610となっている。町民税(法人分)においては臨時的な収入などにより90.9%の伸びがあり、結果的に基準財政収入額を押し上げる要因のひとつとなっている。今後も、財源確保ならびに税徴収にも努める。
【経常収支比率】(前年度比 0.6ポイント増 平成18年度90.8%)
 物件費等の増加により91.4%と類似団体平均を上回っている。物件費は、保育サービスの拡充を図るための「くまのみらい保育園」の運営管理を指定管理者制度としたことによる委託料の増など、今後も事業の「選択と集中」により可能な限りの経費の削減に努める。
【人口1人当たり人件費・物件費等決算額】(前年度比 5,571円の増 平成18年度82,303円)
 人件費は、議員定数の減・職員数の減としたことによる減、物件費は、「くまのみらい保育園」の開園に伴う委託料の増が主な要因となっている。引き続き行政改革等により経費の抑制に努める。
【ラスパイレス指数】(前年度比 増減なし 平成18年度94.2)
 従来から指数は低く推移しており、類似団体平均を1.4ポイント下回り、全国町村平均とほぼ同率である。

【人口1人当たりの地方債現在高】(前年度比 2,939円増 平成18年度262,229円)
 地方債の元金償還額(4億38百万円)は、前年度から若干伸びており、交付税の振替である臨時財政対策債も2億56百万円と依然として高い水準である上、地域健康センター整備・小学校大規模改造など大規模な事業が実施され、地方債の発行額が、4億96百万円となったことが増要因となっている。
【実質公債比率】(前年度比 0.9ポイント増 平成18年度10.0%)
 実質公債費比率増加の主な要因としては、安芸地区衛生施設管理組合への負担金となる元金償還が本格化したこと、また、町立図書館建設事業等による償還金の増及び公共下水道事業の繰出基準の影響もあり増となった。公共下水道事業において、繰上償還を行うことにより、実質公債費比率の抑制に努める。
【人口1,000人当たり職員数】(前年度比 0.01ポイント増 平成18年度5.31人)
 定員適正化計画に基づき職員の定員管理に努め、勤奨退職や職員不補充により平成20年4月1日現在では155名となっている。現時点で、平成22年4月1日までの定員155名の目標を達成している。